

やらんば！平戸

ひと(HITO) 響きあう 宝島 平戸

広報 ひらど

Hirado City Public Relations



「ヌルヌルして楽しいね!!」
～おぎた田んぼの学校～

Contents

| | | | |
|-----------------------|----|--------------------|----|
| 特集「交流も変革の年 新たなステージへ」▶ | 02 | HIRADO X-change ▶ | 23 |
| 地域ブランドの創造No.2 ▶ | 06 | 見つけた!平戸の元気 ▶ | 24 |
| 12xおらんだ2009 ▶ | 14 | まちのできごと ▶ | 25 |
| 平戸から世界遺産を ▶ | 16 | Happy子育て応援隊 ▶ | 28 |
| 生涯学習コーナー「学びの達人」▶ | 17 | 平戸市職員の採用試験を実施します ▶ | 30 |
| まちのひとひと ▶ | 18 | 平戸市からのお知らせ ▶ | 31 |
| 市民の声&読者プレゼントコーナー ▶ | 20 | 情報ひろば ▶ | 34 |
| みんなの図書館 ▶ | 22 | 人口の動き・編集室からひとこと ▶ | 36 |

2009 August 8 平成21年 No.047

Hirado City Public Relations

Hirado city Public Relations
2009.8.No.47
広報ひらど 平成21年8月号

大豆油ノキを使用しています。

【編集・発行】平戸市総務課 〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
TEL/0950-22-4111(代) FAX/0950-22-2419
URL http://www.city.hirado.nagasaki.jp E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
印刷/有限会社ケンホクプリント



2009「平戸オランダ年」400周年記念事業

開選 なんでも鑑定団

どんなお宝が飛び出すのか?!

TV 公開録画

観覧 無料

「出張!なんでも鑑定団 in 平戸」 観覧者募集!

と き(予定): 9月13日(日) 午後1時~(開場: 正午)
ところ(予定): 平戸文化センター大ホール

応募方法

観覧を希望する人は、往復ハガキに「住所」「氏名」「電話番号」を記入の上、「出張!なんでも鑑定団 in 平戸」観覧係まで応募してください。往復ハガキ以外での応募は受け付けません。応募者多数の場合は抽選となります。
※当選ハガキ1枚につき、1人入場できます。

応募締切日 8月14日(金)当日消印有効

応募先・お問い合わせ

〒859-5192 岩の上町1508番地3
観光商工課内「出張!なんでも鑑定団 in 平戸」観覧係
(☎内線2274)

●応募方法(往復ハガキの記入要領)

| | |
|--|----------------------------|
| 往信おもて | 返信うら |
| 859-5192 | ※ここは白紙のまま |
| 岩の上町1508番地3 観光商工課内 「出張!なんでも鑑定団 in 平戸」 観覧係 | 観覧希望者の 郵便番号 住所 氏名 |
| 〒 | 観覧希望者の 住所 氏名 電話番号 |

●抽選結果発表
8月下旬に返信はがきでお知らせします。

◎今月の表紙

6月28日、田平町荻田免で開催された「おぎた田んぼの学校」からの一コマ。園児や小・中学生約20人が参加。3アールの田んぼにもち米の苗を植えた後、脇を流れる釜田川にたも網を持って入り生き物調査を実施。取れたカワムツやテナガエビなどについて、生物に詳しい壽福院亮さんから説明を聞きました。



◎人口の動き

■平戸市人口/37,019人(-38)
男性/17,344人(-16)
女性/19,675人(-22)
■世帯数 14,446戸(-15)
※(*)は、前月との比較
平成21年7月1日現在

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。

Editorial

編集室からひとこと

ピープルトゥピープル「学生大使」を2週間かけて取材しました。10代後半から20代の若いスタッフが、アメリカの高校生に翻訳している姿を見て、正直かっこいいと思いました。この思いが、自分を向上させるチャンスなのかもしれません。この交流で、どのくらいの人が「自分も英語をしゃべれたら」と思ったでしょうか。来年は、もう少ししゃべれるように努力したいですね。

今年もまた暑い夏が、やってきました。子どもたちにとっては、楽しい夏休みです。これから、各地での恒例の夏祭りに加えて、オランダの少年サッカーチームとの青少年日蘭交流事業など、さまざまなイベントがあります。平戸オランダ年を記念したイベントも、たくさん予定されています。ぜひ各地のイベントに参加して、平戸が元気になるように、一緒に盛り上げていきませんか。

特集

交流も変革の年 新たなステージへ

平戸でアメリカの修学旅行生と出会う風景。今年で3年目を迎える「ピープルトゥピープル」学生大使「も」平戸の地に根付き、さらに発展しようとしています。

今年もさまざまな交流を展開

6月15日から7月17日までの間、3年目を迎える「ピープルトゥピープル」学生大使「プログラム」(以下「PTP」)で、アメリカの高校生10グループ、399人が、平戸を訪れました。「学生大使」のみなさんの受け入れは、本市に拠点を置く教育団体「小さな世界学校」が、米国PTPおよび旅行会社JTB GMT社から委託を受けて行っています。7日間に渡り長崎県に滞在し、うち5日間は市内の小学校・高校での交流や茶道塩づくり、漁業体験などを体験したほか、平戸の自然を満喫しました。また、4泊のうち3泊はホームステイし、受け入れ家族と一緒に生活を共にするうちに、まるで本当の息子や娘のように家族の中に溶け込み、楽しい時を過ごしました。



交流

コミュニケーションと英語の好学習



市内の5つの小学校と2つの高校で交流授業を行いました。平戸では外国人とのさまざまな交流が行われているため、児童や生徒のみなさんはすぐに仲良くなり、趣向を凝らした出し物や遊びで親睦を深めました。「学生大使」のみなさんは、「日本の子どもたちの明るさに勇気づけられた」「集団の中で互いを思いやる文化が素晴らしい」とさまざまな感想を話していました。英語をじかに聞き、自分の思いを英語で伝えようとするのは、児童や生徒のみなさんにとって、貴重な学習機会になりました。



1将棋の駒の進み方を教えた後、いよいよ対局
2日本の古き遊び「はないちもんめ」。次は誰がほしいのかな
3日ごろ練習している「祭りのんこのこ」を一緒に練習
4うちわや色紙に書道の練習をした後、太い筆で大作に挑戦

体験

自然や文化などの地域素材を活かす

「学生大使」のみなさんは、滞在期間中、平戸の自然・文化などを活かしたさまざまな「生活文化プログラム」を体験しました。平戸に暮らす私たちにとっては、ごく普通の景色や魚釣り・田植え、茶道などの生活文化が、遠い異国から訪れた「学生大使」のみなさんにとっては、すべてが新鮮な体験ばかりだったようです。



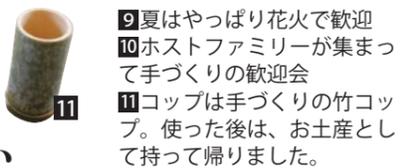
5お弁当を作って、上段の野へピクニック
6浴衣に着替えて、着付けをしてくれたみなさんと記念撮影
7松浦史料博物館「閑雲亭」で、茶道体験。「烏羽玉」は初めての味
8塩炊き屋で、海水からの塩づくりを通して、海水汚染問題を考えた



真心

若いパワーをもらい地域が活性化

「学生大使」のみなさんは、平戸での3泊をホストファミリー宅にホームステイします。初めは緊張していても、おもてなしの心が通じ次第に打ち解けていきます。受け入れた地域も、若い「学生大使」のパワーをもらい、笑顔と元気な声が響きわたる町に変わってきています。



9夏はやっぱり花火で歓迎
10ホストファミリーが集まって手づくりの歓迎会
11コップは手づくりの竹コップ。使った後は、お土産として持って帰りました。

一人の青年が思い描いた事業

平戸で行われているPTPは、本市出身の一人の青年の思いから始まった事業です。青年は24歳のとき、「自分はいったいどこで、何のために生きていきたいのだろう」という問いと不安を抱えて平戸に帰ってきました。

青年の名前は小関哲さん。幼稚園から中学校までを平戸で育ち、佐世保の高校に進学しましたが中退。奨学金を得て2年間英国へ留学後、京都大学法学部を卒業し就職を考えました。しかし、大都市・大企業への就職に疑問を感じ、体一つにテントを背負って国内外の田舎を放浪し、人生について考えました。

そんな彼が、心の中で温めてきたプランを実行に移し始めたのが、平戸に帰ってきた平成16年。それから3年後の平成19年、日本で最大規模のアメリカ人修学旅行PTPを平戸に受け入れることに成功しました。手づくりの修学旅行が、市民のみなさんのおもてなしの心で、全世界48コースの修学旅行中、「世界第一位」の評価を受けました。

PTPは、本市出身の一人の青年の思いが、地域のみなさんの共感を呼び、協力・応援を得て実現できた事業です。

若い人のパワーをもらって、夫婦とも元気になりました。

志々伎体験型振興会では、国内をはじめ海外からの学生を民泊で受け入れ、さまざまな交流を行っています。西さん夫婦は、「民泊を受け入れるようになってから、地域の人や受け入れた子どもたちとの会話のおかげで、若い人とよく話をするようになり、元気をもらっている。受け入れのため



志々伎体験型振興会
西友久さん(76)
良子さん(70)

平戸には現代社会が見失った「感動」がある 国内外の若者たちを迎え入れ 平戸を「感動産業」の先進地にしたい

◎国際交流と地域活性化の融合

▼故郷平戸への思い

「地域のために頑張っているね」とよく言われます。うれしいことです。私にはあまり「地域のために」と言わないようにしています。

「地域貢献」は、あくまで結果としてほかの人や歴史が判断すべきことで、それを高く掲げてしまうと、どこかに甘えやごまかしが出ます。もちろん自分の仕事も、結果的に故郷に良い影響を与えているとしたら、それは非常にうれしいことです。

私がPTPを平戸で行っているのは、平戸が自分の活動にとって最も適した土地だと判断しているからです。

つまり平戸には、このPTPを行うのに必要な美しい自然や文化があり、そこに心温かいみなさんがたくさんいるということです。「世界に通用する商品」として仕上げるための埋もれた素材が、数多くあるところなのです。

▼世界一の評価の要因は

世界一の評価の要因は、二つあると思っています。一つは、「学生大使」のみなさんに平戸の美しい自然だけでなく、人々の暮らしぶりを直に感じてもらう、そのぬくもりに触れてもらったこと。旅行とは感動を売る産業であり、真の感動には「魅力的な人物」との出会いが不可欠です。平戸には、大都会で忘れられてしまった「本当に大切なもの」を思い出させてくれる魅力的なみなさんが、たくさん暮らしています。

もう一つの要因は、その平戸の魅力を「学生大使」のみなさんに、完璧に伝えることができる感受性豊かで心のきれいな若いスタッフたちの存在です。PTPは、心温かい平戸のみなさんと世界中から集った優秀なスタッフとの、素晴らしい掛け算により成り立っています。そのどちらが欠けても、絶対に成し得ませんでした。

▼真心を伝えるスタッフの活躍

この夏「小さな世界学校」では、12人のスタッフがプロとして報酬をもらい働きました(うち平戸出身者3人)。

この若者たちの多くは、世界の名門大学の卒業生や現役生です。平均年齢20歳そこそですが、7週間の間、平戸でたくさんのお出会いと感動を与えるため、早朝から深夜まで身を



▲心のコもった通訳で「学生大使」のみなさんに説明するPTPスタッフ

を粉にして働いてくれました。「頭のよさ」や「高い英語力」以上に、「きれいでまっすぐな心」を持った若者たちだからこそ、平戸のみなさんの魅力を最大限に伝えることができ、「学生大使」のみなさんも素直に感動をしてくれているように思います。平戸は、このような素晴らしい若者たちを引き付ける力を持ったところなのです。

今後は、平戸出身の10代や20代の若者にも、自分の中に眠っている可能性や故郷の魅力に気付く、私たちの仲間として一緒に働いてほしいと願っています。



小さな世界学校
松口祐子さん(36)
(中野大久保町)
Matsuguchi Yuuko

PTPに参加して「人の心の温かさ」と「自然の素晴らしさ」を実感できました。

3年前、このPTPのことを小関君から聴き、とても興味深い事業だったので、現地のコーディネーターとして働くことになりました。

手づくりの修学旅行を最初は手探りの状態からスタートさせましたが、平戸には素晴らしい素材があるので、きっと成功すると思っていました。

しかし、この事業はその想像をはるかに超えるものでした。言葉の壁を越えた本当の交流をたくさん見ることができ、「人の心の温かさが伝われば、人と人とは本当に分かり合える」と幾度も思いました。この仕事を通して、平戸のみなさんの「心の温かさ」、「自然の素晴らしさ」を改めて実感できましたし、私自身もたくさんの感動をもらいました。

また、漁業関係者やホームステイ先の家族のみなさんなど、日常生活では出会うことのない多くの人たちと出会うことができました。自分が生まれ育った故郷でこのような仕事ができたと、また事業にご協力・応援して下さったみなさんに感謝しています。



小さな世界学校
森 健太さん(16)
(福岡市)
Mori Kenta

この経験を活かして、社会に貢献できる仕事をしたい。

昨年、長崎の原爆資料館でPTPの活動をしている小関さんに出会いました。話をするうちに、日本でも田舎といわれている平戸で、アメリカの高校生と地元のみなさんが、本当の意味での交流をしていることを聴き、今年から働くことになりました。

まず初めに驚いたことが、PTPスタッフのすごさです。世界各地から選りすぐりの精鋭たちが集まっていました。そのスタッフから学校の授業では決して得られないものを学び、その経験をアメリカの高校生に真っ向からぶつけました。それにより私は格段とたくましくなると感じます。16歳でも社会に貢献することができることを実感できました。

同世代の若者たちにも、自分と同じような経験をしてほしいと強く願っています。経験を積むことによって、それが自信にもつながると思います。

私自身も、9月から小関さんをはじめPTPスタッフの多くが卒業しているUWC(ユナイテッド・ワールド・カレッジ)に留学します。将来は、社会に貢献できる仕事をしたいと考えています。

事業起業から独り立ちへ

―受け継がれる思い

自分の活動に適した場所を追い求めた末に、平戸でのPTPにたどり着いた小関さん。PTPを平戸に誘致するまでには、大きな壁を乗り越えてきた小関さんのあつい思いと人知れず重ねてきた努力があり、それを支えてくれた地域のみなさんや仲間たちの協力がありました。さまざまな問題に挑戦し、解決していかなければ、その先に成功は見えてきません。

ここに、国際交流と地域活性化が融合した交流事業が誕生し、地域のみなさんを巻き込んで、大きく成長しています。過疎化が進む町にも交流の火が灯り、笑顔と元気あふれる声が響きわたる町に変わってきています。

また、小関さんの思いに感動し、共感した若者たちが、全国、いや世界中から平戸に集まってきています。「自分も通訳になって、国際交流事業に携わりたい」と思い、努力を重ね、事業に参加している若者たちも出てきています。

3年目を迎えたPTPは、地域のみなさんとともに歩み、世界や国内から集まる小関さんの思いを受け継ぐ若者たちによって、平戸に根ざした事業へと独り立ちしようとしています。



Interview

小さな世界学校
おせきざとし
代表 小関 哲 さん(29)

『平戸ブランド推進プラン』で新たな戦略を策定しています

「豊かな海と大地、そして人と歴史が育んだ我らの宝」である食を地域の誇れる「平戸ブランド・ひらど自慢」(仮称)とするための戦略的な宣伝や販路拡大などの行動計画です



▲推進プランについて論議する協議会委員

平戸市が、地域資源のブランド化に取り組み目的は、地域産業の低迷といった地域課題のひとつの打開策として、地域資源の中で「食」の価値を見つめ直し、有効に活用して地域を活性化させようというものです。そのために地域が一体となった取り組みを始めていることを、先月号で紹介しました。

今回は、「食」の地域ブランドを目



▲イベント会場で平戸産カレーを食べる子どもたち

指した具体的な取り組みについて、関係団体や行政などで組織する「平戸地域資源ブランド推進協議会」が開かれ、戦略的な行動計画としての「平戸ブランド推進プラン」を策定していきますので、その内容について紹介します。

■推進プランの目的

「平戸ブランド推進プラン」の目的は、「豊かな海と大地、そして人と歴史が育んだ我らの宝」を市民のみならず自慢」として輝かせることです。そのためには、消費者や地域、住民の視点に立って、ものづくりを行う人材を育てることが前提となります。そのことを踏まえた上で、情報発信やイベントなどの仕掛けづくり、販売方法などの戦略について策定しています。

■消費者調査結果

昨年8月に、九州や関東、関西

地区の一般消費者1000人を対象にした「平戸産品に対する調査」では、北部九州(長崎県・佐賀県・福岡県)を除く地域では、平戸産品の知名度は低い結果となっています。このことから、まず平戸の産品に対して、認知度および購入経験の度合いが比較的高い北部九州と地元を、対象地域として重点的に取り組みます。

■事業展開の流れ

平戸市では、これまでも観光を中



へ、産品の紹介や料理レシピなどを、広報紙などを活用して、ブランド化の取り組みや旬の素材を情報提供していきます。そして、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など報道機関の宣伝広告を効果的に活用して、「平戸ブランド・ひらど自慢」の魅力を発信していきます。

また、「平戸ブランド・ひらど自慢」の取り組みやイベントなどを開催し、マスコミ各社の取材に取り上げられる形での情報発信のため、積極的な情報提供を行います。

②平戸ブランドに興味を持ってもらうための仕掛けづくり

市民のみならず「平戸ブランド・ひらど自慢」の魅力を味わってもらうために、試食会や市内のイベントでの特設ブースの設置、関係団体と連携した料理教室の開催などを継続的に行っていきます。

市外の消費者や関係者向けには、「平戸ブランド・ひらど自慢」の安心安全や生産者のこだわり、産品や地域の魅力を直接感じてもらうために、地域交流型のバスツアーなどを実施します。

また、生産者や事業者向けには、特産品の発掘や魅力向上などをテーマに、デザインやマーケティング、食文化などの専門家によるアドバイスを受けられる支援体制を強化します。

このような取り組みと連動して、

「平戸ブランド・ひらど自慢」に関するホームページを作成し、各産品素材の詳細な情報(特徴やレシピ、飲食場所、購入方法)や物産展などの情報を発信し、消費者とのネットワークを構築します。

③「平戸ブランド」を購入してもらうための仕掛けづくり

市内の宿泊施設などで、もっと地元の食材を有効活用できるような流通のシステムを構築し、訪れた人が「平戸ブランド・ひらど自慢」を楽しめる体制を作っていきます。

観光客だけでなく、地元の人も気軽に食べられるような「平戸ブランド・ひらど自慢」の新メニューを開発し、市内で飲食できる場を増やし、季節の特産品セットを提供していきます。

また、福岡都市圏でのホテルとタイアップした「平戸フェア」や観光物産展を開催し、「平戸ブランド・ひらど自慢」の魅力をアピールしていきます。

こういった取り組みを、今後3年間、集中的に繰り返し実施し、平戸産品を「平戸ブランド・ひらど自慢」として輝かせていきます。

そのことにより、市民のみならず、平戸には素晴らしい産品があると誇りを感じることができるようになったときに、初めて真の地域ブランドとして認知されたこととなります。

『平戸ブランド・ひらど自慢』 26のモデル品目を選定しています

「豊かな海と大地、そして人と歴史が育んだ我らの宝」を重点的に販路拡大や宣伝などを実施していく商品として、生産力や競争力などを基準に、ブランドモデル品目となる26品目の商品を選定しています。



平戸には、魅力ある商品が多くありますが、知名度がまだ低いため平戸の商品の中から、ブランドモデル品目として26品目を選定して、販路拡大を目指した流通展開やマスメディアと雑誌などによるPRを積極的に実施しています。

このブランドモデル品目は、地域ブランド化として期待できる将来性ある商品で、「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」において協議して決定しました。選定基準につきましては、生産力や競争力、地域性など、他地域の産品に比べて差別性の高い価値がある、平戸牛やヤリイカ、ヒラマサなど26品目を選定しています。

今後、広報ひらどでは、これらの選定されたブランドモデル品目につきまして、毎月、生産の背景などを紹介していきます。

※今月号では、10〜13ページに2つの商品を紹介しています。

■商品選定の基準

- ◎ブランドモデル品目選定基準
- ①毎年生産される旬を代表するもの
 - ②希少性、高級感
 - ③特徴的な食べ方(料理法)
 - ④地域住民に馴染みが深い
 - ⑤すでに地域ブランドとして一定の定着がある
 - ⑥積極的な利用を促したいもの
 - ⑦他地区でブランド化されていない特異的なもの
 - ⑧品質管理・安定供給の維持が可能なもの
 - ⑨資源管理の取り組みが見られるもの

◎ブランドモデル品目

| | | |
|------|-------|--------|
| ヤリイカ | カワハギ | 天然塩 |
| ヒラマサ | シイラ | 平戸牛 |
| カサゴ | アオリイカ | 平戸米 |
| イサキ | アカウニ | アスパラガス |
| タコ | ヒラメ | いちご |
| アワビ | ウチワエビ | 玉ねぎ |
| マハタ | クエ | じゃがいも |
| トビウオ | カキ | 菌床しいたけ |
| カマス | アイゴ | |



▲試作中の平戸牛とじゃがいもコロッケ

●秋の大型連休に食の祭典の実施を計画中!

9月20日(日)〜22日(祝・火)の3日間、平戸港交流広場を会場に、食の祭典(イベント名未定)を開催する予定です。

このイベントは、平戸の食材の魅力を広くPRするとともに、平戸オランダ年を記念する事業として計画しています。地元飲食店の料理人が、平戸牛やウチワエビ、イカ、じゃがいも、しいたけなどのブランドモデル品目である産品を、アレンジした料理でもてなすイベントです。会場全体をおいしい屋台村のようにするために、現在、地域のみなさんと一緒にメニューや企画を考えるなどの準備を進めています。詳しいイベントの内容については、9月号でお知らせします。

食を活かした新たな取り組みを始めています

『平戸が誇る旬素材の華麗(カレー)なる対決』

●平戸華麗対決

7月18日、平戸公園で、「平戸大橋ライトアップサンクスフェスタ」が開催されました。その中のイベントで、「平戸華麗(カレー)対決」として、市内5店舗の料理人が、平戸産の旬の食材を活かした個性溢れるカレーを創作し、ワンコイン(500円)で販売。当日は、このカレーを求めに大勢の家族連れが訪れ、そのおいしさに舌鼓を打っていました。

今後、各地のイベントの際には、平戸産品を紹介し食べてもらうためのブースなどを設置していきますので、ぜひ、ご家族で平戸産品のおいしさを味わってみてください。



▲豪華な平戸プレミアム華麗

●平戸産品で新メニューのカレー

- 「平戸牛華麗」/やなぎや食堂
平戸牛と平戸産の野菜をじっくり煮込んだカレー
- 「オランダ風平戸夏野菜華麗」/レストランファミリー
平戸産の野菜をふんだんに使用し、チーズを絡めた一品
- 「平戸タコ華麗」/磯かつ
新鮮なタコを炒めたタコライスとたこ焼き風ソースの一品
- 「平戸フィッシュ華麗バーガー」/館浦漁協
シイラのカレー風味フライの特製フィッシュバーガー
- 「平戸男気華麗(牛スジ)」/居酒屋「貴苑」
平戸牛のスジを秘伝の味噌で煮込んで、スパイスを効かせた一品
- 「平戸プレミアム華麗」 ※プレミアム販売(器付で1万円)
平戸産旬カレーと平戸焼の器で食べる豪華なプレミアムカレー



●4課(企画課、観光商工課、農林課、水産課)で連携した食を活かした事業担当者コメント

「平戸ブランド・ひらど自慢」の確立を考える上で、これまでの物産振興の取り組みは、物産展や青果市場、スーパーでの生産者によるPRが中心で、農協や漁協など生産者同士の連携や消費者との交流を生み出す仕組みが十分ではなかったため、地域全体で取り組んでいるとは言えない状況でした。

また、私たちが普段から食べていて、当たり前だと思っている産品の魅力をしっかりと伝えることが、平戸産品の価値を高めることにつながると考えています。

私たちに足りなかったものは何か。それは、平戸の魅力ある産品の情報について、「伝えること」が不足していたと実感しています。

この情報をしっかりと伝えることで、食の町としての「平戸」の価値を高めることにつながると考えています。

全国の消費者を対象に、平戸の産品の認知度調査を実施したところ、早くから宣伝活動を行ってきた「平戸ひらめ」や「平戸牛」などの認知度は、北部九州を中心に高かったのですが、そのほかの産物については、まだ認知度は低いのが現状です。



▲平戸ブランド担当職員
右から観光商工課・土田主事、近藤班長、農林課・藤村技師、水産課・山口主事

こうした中で、海や大地、人の営みに育まれてきた地場産品を地域の宝として、市民や観光客、そして全国の人たちに知ってもらおうと取り組んでいるのが「平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業」です。

この事業による宣伝活動や情報発信を通じて、「平戸ブランド・ひらど自慢」を各地に売り込むことで、生産者の支援と農林水産業や関連産業を盛り上げていきます。

また、「平戸ブランド・ひらど自慢」を地域の誇りと愛着をもって自慢できるように、生産者や関係団体、そして市民のみなさんと一緒にスクラムを組んで、いろいろな仕掛けをしていきながら、「平戸ブランド・ひらど自慢」を、価値ある地域ブランドとして確立させていきます。

平戸牛

肉本来のうまみを持ち上質な
甘みのある味わいが特徴の逸品



◎牛肉は部位の特性がはっきりしており、それぞれの料理にあわせて肉を選ぶことでよりおいしく味わえる。部位により差はあるが、良質のたんぱく質を多く含み、鉄や亜鉛などのミネラルも豊富。牛肉のうまみ成分は主にイノシン酸で、熟成すると増加しておいしくなる



平戸の雄大な自然が
育んだ最高の肉質

※牛の固体識別番号：0202757436

【平戸牛のサーロインステーキ】

一頭ずつ丹精込めて育てられた
究極の味「平戸牛」

肉用牛の生産農家は、母牛から生まれた子牛を約9か月齢まで育てる「繁殖農家」と、その後、約20か月齢まで飼育する「肥育農家」があり、繁殖と肥育を一貫で行う形態もあります。

現在は、平戸市の肥育農家戸数は8戸で、1283頭(平成21年4月現在)が飼育されています。そのほとんどが、佐世保市の「佐世保食肉センター」を通して、精肉店やスーパーなどの小売店で販売されているほか、飲食店などで味わうことができます。

平戸の恵まれた自然環境の中で、丹精こめて育てられた平戸牛は、鮮やかな色あい、なめらかな柔らかい肉質、豊かな風味が特徴で、サーロインはステーキやローストビーフ、かたロースはすき焼きやしゃぶしゃぶなど、さまざまな料理に最適な逸品です。

今回取材させていただいたのは、

肉用牛の繁殖から肥育までの生産に、情熱を注ぐ福川勇人さん。「牛には4つの胃袋があり、子牛時に第1胃袋を丈夫にすることで、肥育期間に多くの飼料を食べることができ、より大きい牛に育ちます。ビタミンAをコントロールすることで、肉質の良い牛を生産できますので、毎日一頭一頭を注意深く観察しながら飼育しています」と福川さん。

このような徹底した生産管理を行っていることで、全国の市場や消費者から高い評価を受けています。福川さんは「大切な生き物の命を預かり、食として提供する責任を感じるとともに、消費者に安心して提供できる肉として、大事に飼育しています。ぜひ、最高の逸品である平戸牛を、食卓で味わってほしい」と熱く語ってくれました。



▲▶写真上右：大石脇町のながさき西海農協平戸フィードロットでは約370頭の牛を肥育しており、大きくて肉質のよい牛を育てるために、徹底した肥育管理を行っている▼写真下：生月町の山頭草原に放牧される子牛。自然豊かな環境で育つことにより丈夫な牛に成長する



ながさき
西海農協
福川 勇人さん
◎生月町山田免(42)

ながさき西海農協の平戸フィードロット(肥育場)で、現場の責任者として、毎日、約370頭の牛の世話と管理を行っている

チャレンジお手軽レシピ

平戸産玉ねぎのステーキソース



平戸牛の肉汁と平戸産玉ねぎの甘みが絡み、肉のおいしさを十分に引き出すソース

◎材料

平戸牛(ステーキまたは焼肉用)、玉ねぎ1/2個(120～130g)、酒大さじ2、濃口しょうゆ大さじ1、バター適量、こしょう適量

◎作り方※酒を入れる時にやけどに注意

①塩こしょうした肉をお好みで焼く②肉を取り出し、そのフライパンで肉汁とスライスorみじん切りの玉ねぎを強火で良く炒める③酒大さじ2杯を入れ、しょうゆを鍋肌から香りを付けるように回し入れる④弱火にし、バターを入れ溶けるまで混ぜて、お好みでこしょうをいれる

Interview

うまみのある平戸牛は、余
分な味付けがいらぬ

焼肉市山のオープン時に料理長としての誘いがあつたときには、フレンチ料理を専門にしていたので、専門外の仕事で戸惑いがありました。

しかし、この平戸牛を味わってみて、その考えは変わりました。柔らかいだけの肉はいろいろありますが、肉本来のうまみと甘さがほかの肉とは違います。だから調理の際には、余分なソースなど必要なく、塩こしょうだけでも、びっくりするくらいのおいしさです。

また、毎日、新鮮市場などで仕入れた地産の野菜や果物で、前菜やデザートなどの料理を出して実感していますが、平戸は、肉だけではなくいろいろな食材の宝庫だと思います。



焼肉市山 料理長
上尾 政勝さん
◎佐世保市(53)

平戸市大久保町出身で、20年間ほど佐世保市のホテルでフレンチ料理の担当として勤務。焼肉市山のオープン時から料理長として、常においしい平戸牛を活かした料理を追求している

アワビ

貝類の中でも別格のおいしさは
貝の王様とも呼ばれる高級食材



◎アワビは、約80種あり、日本では、クロアワビやメガイアワビなどがある。資源維持のため漁場の管理や漁獲の規制が行われている。成分の特徴としては、コラーゲンが多いので、生ではコリコリしているが、火を通すとコラーゲンがゼラチンに変わり柔らかくなる



豊かな平戸の海が育んだ
うまみと食感が極上の逸品

【アワビのピリ辛味噌炒め】

多彩な漁を行いながら、海面でのアワビ養殖も手がけている福畑敏光さん。「アワビの養殖は、8年前から始めました。きっかけは磯焼けなどの影響で漁獲量が年々減少していることから、安定した生産を目指して取り組みました。2〜3年かけ9センチぐらいに成長したものを出荷していますが、食べやすい1人前サイズで人気があります」と福畑さん。市内では、主にホテルなどで利用されており、その天然ものと変わらぬ品質の良さから、高い評価を受けています。

福畑さんは「天然ものに負けない、このおいしい養殖アワビの出荷量を増やし、地域の誇れる特産品となることを目指して、頑張って養殖に取り組んでいます」と笑顔で語っていました。



▲写真上：アワビの生育状況などを念入りに確認している福畑さん ▶写真右：2年〜3年かけて、度島のきれいな海と良質のコンブで育った、活きの良い出荷前のアワビ
▼写真下：出荷前のアワビで溢れるかこの引き揚げ作業を行う福畑さん



県北地区漁業士会会長
福畑 敏光さん
◎度島町 (46)

県北地区漁業士会会長(指導漁業士)として若手漁業者の指導も行いながら、アワビの資源管理や磯焼け対策にも率先して取り組んでいる

チャレンジお手軽レシピ

アワビのピリ辛味噌炒め



アワビのうまみと、ピリ辛の味噌タレが絶妙。彩りも鮮やかな夏にぴったりの一品

◎材料

鮑 100g、パプリカ赤・黄適量、玉ねぎ適量、バター 15g、白ワイン30cc
☆タレの材料、赤味噌20g、砂糖大さじ1、酒大さじ2、みりん大さじ2、んにく(すりおろし) 1片、七味少々

◎作り方

①アワビをよく洗う②熱したフライパンにバターを入れ焼く。アワビに火が通れば白ワインを入れて蒸し焼きにする③小口に切った野菜を入れ、アワビと炒める④タレの材料を合せたものを、アワビとよく絡ませながら炒める

Interview

天然ものと変わらない品質

平戸の養殖アワビは、良い環境と豊富な餌を食べているため、活きが良く、身にコリコリ感があり、天然ものと変わりありません。一般的な養殖アワビは、煮込んだりすると身が縮みやすいのですが、平戸の養殖アワビはそういったことはなく、優れた品質管理で出荷されています。そのことから自信をもってお客様さまに提供することができます。刺身をはじめ、煮たり、焼いたりどんな調理法にも合う逸品で、お客さまにも大変喜ばれています。

また、料理を提供する際には、地産地消を第一に考えて、地域の農業者や漁業者のみなさんと連携して、豊富な平戸の食材を活かしたメニューづくりを心掛けています。

国際観光ホテル
旗松亭 総調理長
陣内 幸二さん
◎大久保町 (40)



福岡や佐賀のホテル、日本料理店を経て、4年前に旗松亭の総調理長に就任。日ごろから地域の生産者と接しながら、地元の食材を活かした料理づくりを行っている

オランダの芸術を楽しもう！

「12xおらんだ」芸術祭

平戸オランダ年という記念すべき年、平戸を舞台に、ヨーロッパ各地で活躍中の芸術家たちの繰り広げる感動の波をより多くの人々に体験していただけることを祈念し、この芸術祭を開催します。

9月22日(祝・火)午後3時開演
平戸文化センター

入場
無料

9月23日(祝・水)午後3時開演
田平町民センター

- 第1部
 - ▶リコーダー、フルート、リュート、ピアノのソロ演奏
 - ▶ヒップホップとモダンダンスのソロ・パフォーマンス
 - 第2部
 - ▶「風の水平線」
- 10人のアーティストによる音楽・ダンス・美術を結集した12xおらんだ・アート・フェスティバル用の特別作品。ウィル・オッフエルマンズ芸術総監督/作曲。この作品の中で、平戸に捧げる新しい歌「風の水平線」も披露されます。

12xHollannd Art Festival



「平戸オランダ年！わくわく講座」

平戸オランダハウス「デ・ハール」(宮の町)で本市で活躍中の講師陣による初心者向け講座を開催します。夏休みの作品作りにも最適！ぜひ親子でご参加ください。講座は1回ごとに受けられます。

受講者
募集！

- 「撮らば平戸」カメラ教室
 - 講師 浜崎さわこ先生(写真家)
 - とき 8月30日(日)、9月6日(日)、10月25日(日)
いずれも午後1時～午後4時
 - 受講料 大人1,000円、中学生以下500円
- クレヨン画教室
 - 講師 瀬崎正人先生(クレヨン画家)
 - とき 8月29日(土)、9月6日(日)、10月25日(日)
いずれも午前9時～正午
 - 受講料 大人1,000円、中学生以下500円
- トールペイント(木靴絵付け)教室
 - 講師 川前久美先生(アトリエOrangeTime)
 - とき 8月25日(火)午前9時～正午、9月19日(土)・10月31日(土)午後1時30分～午後4時
 - 受講料 大人2,000円、中学生以下1,000円

- 平戸学教室(小学生・一般)
 - 講師 松浦史料博物館学芸員ほか
 - とき 【小学生】8月8日(土)、8月26日(水)
【一般】8月19日(水)、9月16日(水)
10月21日(水)、11月18日(水)
いずれも午後2時～午後3時30分
 - 受講料 大人200円、小学生100円
 - ◎申込み・お問い合わせ
平戸オランダハウス「デ・ハール」(☎22-4005)
※午前11時から午後5時までにご連絡ください。

12xおらんだワークショップ 「女性のためのやさしいボクシング」

- 2007年オランダボクシング女性チャンピオンのマイケさんが講師となり、女性を対象にボクシング講座を開催します。受講料は無料です。一度だけでも参加してみませんか？
- とき 9月18日(金)・26日(土)午後7時～午後9時、9月19日(土)午前10時～正午
 - ところ 空手道場(北部公民館前)
 - ◎申込み・お問い合わせ
企画課地域振興班(☎内線2338)

出会い、交流、今年は10人の芸術家が出てくる！

12xおらんだ2009



2000年に始まり、今年で10回目を迎える「12xおらんだ」。今年は「平戸オランダ年」を記念して、9月14日(月)から9月28日(月)までの間、過去に平戸を訪れた8人を含む計10人の芸術家を平戸に迎え、「12xおらんだ・アートフェスティバル」の開催や、学校訪問、出張ミニコンサート、一般ワークショップなどさまざまな活動を行います。参加する10人の芸術家を紹介します。

■お問い合わせ 企画課地域振興班(☎内線2338)

▶ 参加者紹介 Participant Introduction

ギャビン・ヴィアノ・ファブリ
(1988年生、ヒップホップ、ジャズダンス)

2009年初来平

ギャビンさん自身が運営するダンスカンパニー「Godgiven」を結成し、オランダ・ダンス・チャンピオンシップやラスベガス・ヒップホップ・チャンピオンシップなどに参加しています。

マルヨライン・ヴァン・ローン
(1954年生、リコーダー)

2000年来平

ヨーロッパ古楽アンサンブルグループと数多くのコンサートを行っているマルヨラインさん。アンサンブル「Reflex」では、リコーダーの現代音楽の演奏にも取り組んだ経歴の持ち主です。

マイケ・ヴァン・グリンスヴェン
(1978年生、アニメーション、ボクシング)

2009年初来平

リットフェルト美術アカデミーでアニメーションを専攻。また、オランダボクシング選手権でチャンピオンになるなど、異分野で活躍するマイケさん。異分野に通じる独特の「動きの芸術」を追求しています。

ダーヴィット・ヴァン・オーイエン
(1966年生、リュート)

2000年来平

現在は、独奏者として世界各地で活躍する傍ら、多くの古楽アンサンブルやそのCD録音にも参加しているダーヴィットさん。デンハーグ王立音楽院でリュートを日本人の佐藤豊彦さんに学びました。

アレックス・デ・ウォルフ
(1958年生、イラスト、絵画)

2006年来平

オランダ国内をはじめ、海外でも著名な絵本のイラストレーター。アレックスさんの絵本は、日本語訳でも出版されています。「だいじょうぶくまくま」講談社/「森のなかでみつけたよ」WAKUWAKU 童話館など。

ケイス・ウィーリング
(1957年生、ピアノ)

2006年来平

クラシックから現代音楽まで幅広いレパートリーを持つケイスさん。ニューヨーク・カーネギーホールをはじめ、アメリカ、ヨーロッパ各国、トルコなど世界各都市でコンサート活動を繰り広げています。

アルマンド・ヴァンデン・ハーメル
(1974年生、モダンダンス)

2005年来平

ダンサー、振付家としてオランダ国内外で活躍するアルマンドさん。障害児のグループへのダンスの指導をはじめ、さまざまな状況に応じたダンスの指導を行っています。

上田 純子
(1968年生、ボーカル、薩摩琵琶)

毎年来平

薩摩琵琶ソロ・コンサートや下記ウィルさんとの二重奏の活動を、世界各地で繰り広げている上田さん。数多くの作曲家やアメリカのチェロ奏者ヨーヨーマを含む多くの演奏家と共演しています。

アネリンデ・デ・ヨング
(1982年生、絵画)

2007年来平

アネリンデさんは、絵を紙の上に描く一般的な技法に限らず、プラスチック、端切れ布、色紙などさまざまな材料を貼り付け、一部に加筆などをして描くコラージュを制作しています。

ウィル・オッフエルマンズ
(1957年生、フルート、芸術総監督)

毎年来平

「12xおらんだ」発案者でありプロデューサーのウィルさん。作曲作品は、ドイツ、韓国、日本で発売され、数々の賞を受賞。数多くのフルート奏者の演奏レパートリーとして取り上げられています。



■勤務先
ヒロツグデンタルオフィス

■ニックネーム
ひろつぐ

■性格は？
プラス思考で前向き

■趣味・特技
筋トレ、ブログ「島の歯医者さん」配信



山崎さんは、2年余り福岡の大学病院で歯科医師として勤務後、昨年8月に辻町で歯科医院を開業しました。「辻町は小学4年まで育った町、小さいころを知っている人も多いんです」と山崎さん。患者さんの都合に合わせて治療プランを作成するなど、受診しやすい病院づくりを行っています。また、月に一度、東京で開催される研修に参加し、最新の歯科知識や技術を学び、患者さんのために役立てようと頑張っています。

やまさき ひろつぐ
山崎 公継さん (27歳・辻町)
「歯の大切さを理解してもらうため、地域に密着した診療をしていきたい」

☆☆☆ Happy Birthday ☆☆☆
★お誕生日おめでとう！★ 8月生まれ



わが家の三姉妹、
みんな仲良く元気にネ！

まさき はなこ
眞崎 華子ちゃん
(H18.8.5生)

～友英さん・美代子さんの三女～
《岩の上町》



心の優しい
男の子に育ってネ！

みつたけ ゆうしん
光武 優心くん
(H20.8.5生)

～経博さん・智穂子さんの長男～
《生月町南免》



3歳おめでとう！
粹な女の子になってね！

はりあ いき
針尾 粋ちゃん
(H18.8.27生)

～勇さん・裕美さんの長女～
《田平町小手田免》

募集しています

大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「平戸のわっかもん」

平戸のまちで働く「わっかもん」を紹介します。自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」

スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「Happy Birthday」

発行月にお誕生日を迎える3歳までのお子さんを募集します。掲載は先着3人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。

○応募方法 写真にお子さんの名前（ふりがな）・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはEメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載するとは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町 1508 番地 3 総務課秘書広報班 E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

Town's People **CLOSE UP!**
まちのひとびと
Club Introduction
クラブ紹介

「中野中学校相撲部」 「平戸で開催される九州中学校相撲大会に向けて猛練習中」



中野中学校相撲部は、昭和24年に「角力部」として創部され、今年で61年目を迎える伝統ある相撲部です。194校ある長崎県内の中学校で唯一の相撲部で、昨年12月に「第57回全日本相撲選手権大会」でアマチュア横綱になった松永六十四選手もこの部の出身です。部のモットーは、平成17年度卒業生が掲げた「己に克つ」。西郷隆盛の言葉で、「弱い自分の心に負けず常に上を目指して自分を高めること」を目標にしています。現在は、8月7日（金）に市営相撲競技場（亀岡）で開催される「第37回九州中学校相撲大会」に向けて猛練習中。メンバー全員が小兵で、大型力士との対戦では苦戦が予想されますが、地元大会での上位入賞を目指し頑張っています。大会当日は、多くの市民のみなさんのご声援をお願いします。



活動DATA

校長／今川 亮生
顧問／小田 隆之 先生
主将／木山 玲次 君（3年）
部員数／男子6人
活動情報／部では小学生の指導も行って、取材当日は細差相撲クラブが練習に来ていました。

「館浦剣道スポーツ少年団」 「技術だけでなく、人に対する思いやりや仲間との連帯・友情も育てています」



館浦剣道スポーツ少年団は、40年以上活動を続けている伝統ある剣道クラブです。現在、小学生11人と少数ですが学年に関係なく仲良く、ひとつでも優勝できるように週3回の稽古に励んでいます。年に12回ほど、長崎市での少年団剣道交流大会や近隣市町での大会に出場しています。剣道は「礼に始まり礼に終わる」といわれるように、稽古ばかりではなく、挨拶や防具の整理整頓など、礼儀も学ぶことができる武道です。また、レクリエーションや清掃活動などの地域活動にも取り組み、人に対する思いやりや仲間との連帯・友情も育てています。近年は団員数が減って、団体戦のチームを組むのも大変だとか。剣道をしたい山田小のみなさんを募集しています。興味のある人は、お気軽に稽古を見に来てください。



活動DATA

活動日／毎週月・水・土曜日
午後5時～午後6時30分
活動会場／山田小学校体育館
対象者／山田小学校児童
連絡先／指導者（吉江）☎090 - 2500 - 9643
部員数／11人
参加費／1,500円（月額）
代表／坂本浩一さん（生月町山田免）

市民の声 Citizens' Voices

このコーナーは、広報ひらどの読者のみなさんからの声を伝えるページです。広報ひらどへの感想、平戸市への思い、身近な出来事など、たくさんの声をお寄せください。



▲花火が打ち上げられた平戸大橋ライトアップサマックスフェスタからの1コマ

今回の応募総数は、**14**通でした。

あつという間に暑い夏がやって来ました。20数年前は、扇風機と網戸だけで過ごしていた夏でしたが、今はエアコンなしでは過ごすことができませぬ。それだけ暑さが厳しくなっているということですね。でも、少しでも地球温暖化を防ぐため、何かできないものかと考える日々でもあります。

(U・T 59歳女性)

うちには犬がいます。とつてもかわいいです。お座りとかお手とかできます。うちの犬は珍しく吠えませぬ。だからうちの犬が大好きです。

(M・O 8歳女性)

「暑いな」この頃は、特にそう思います。夏休みには、とても楽しみなことがいっぱいあります。球技大会や親子1日会、ジャンガラ、近くの海で泳ぐこと、サッカークの試合、その中で特に楽しみなのが海で泳ぐことです。今からどんどん夏を楽しむぞ。

(Sポンジボブ 11歳)

最近では、地球温暖化などからクリーンエネルギーが叫ばれていますね。太陽光発電の家も良く見掛けるようになりました。また、各地に白い大きな風車の風力発電機も目立ちますね。大島地区には16機もあり、勇壮な眺めです。

先日テレビで言っていました、

風車の近くに住んでいる人が羽根の音で不眠になるとか。いろいろな影響もありそうですね。

(ひげりんぼん 46歳男性)

今年は梅の実が豊作でした。たくさん漬けています。色も染まってそろそろ食べごろです。梅ジュースも作りました。酢と水砂糖を混ぜ合わせて作るとても簡単なジュースです。夏バテ防止には最高ですよ。

(O・K 36歳女性)

「広報ひらど」カラー写真が多くて読みやすいなと思います。少し残念だなと思うことがせつかく「市民の声」というコーナーがあるのに、質問・意見に対して市から回答がないのは少し寂しい気がします。そういうコーナーはできないでしょうか。

(カロン 26歳女性)

ご意見に対しては、なるべく回答をするようにしていますが、紙面上では紹介していませんので、「市への提言」と合わせて、回答の事例を紹介していきたいと思えます。

(広報編集室より)

子どもの通っている高校にピープ

トウビープル学生大使が来ました。とってもかわいい女の子がいたので、一生懸命話しかけたそうです。会話が思ったようにいかず、もう少し英語の勉強をしようかな…って言うていました。国際交流の機会がない子どもたちにとっては、いい刺激になったと思います。

(花みづき 女性)

夕方の散歩に出かけたとき、家の下で子猫のようなものがうろろろしていました。また家の母猫が子猫をどこかへ連れて行っていると思って見ていたら、母親の体の色が茶色で少し太っていたので「あれっ」と思い、良く見るとタヌキの親子4匹が草むらに入って行きました。子タヌキは、本当に猫のようでしたよ。初めて見たかわいかったです。

(さくらの木 女性)

「夢ロマン振興券」購入しました。ちようど車検の支払いに使いました。1割お得になっているので、追加購入してそれもあつという間に使ってしまったました。なんとなく使いたくありませんが…。

(M・M 女性)

若いころは、夏に平戸の海へ友達と遊びに行っていました。それから20数年たつて、縁あって平戸に来ましたが、海へ行ったのは、子どもが小さかったころまでです。今年の夏は、

久しぶりに遠浅のスカイブルーの海を見に出かけてみようと思います。

(K・M 女性)

広報ひらどは読み応えありますね。7月号の特集「平戸の食を輝かせるために」では、地域で頑張っている人を紹介しながらブランド化について深く掘り下げていました。熱意が伝わってきました。簡単に結果が出ない取り組みだと思えますが、継続していくことが大切だと思います。

私たちが旅行に行つて印象に残るものは「食」です。また、日常生活の中でも必要不可欠なものです。これから、平戸の食の魅力を膨らませていけたらいいなと感じています。

(T・T 42歳女性)

7月12日、平戸文化センター杯のバトミントン大会がありました。100人を超える参加があり、入賞商品のお米やかまぼこが好評でした。12月も開催しますので、参加しませんか。

(Bクラス 男性)



※このほか、2通のお便りがありました。

PRESENTS

読者プレゼントコーナー

囲炉裏料理&創作料理 エビス亭
夢とまとを使ったオリジナルコース料理
「お食事券(1名3,670円)」を
ペア2組にプレゼント!

川内峠の山間に、隠れ家的な雰囲気の人気囲炉裏料理&創作料理の店『エビス亭』があります。現在、新たなメニューとして「夢とまと」を使ったメニューを始めしています。この「夢とまと」は、糖度が高く、実がぎっしり詰まっているのが特徴。5年前から生月町で発足した「トマト家十人会」が、水耕栽培での生産に取り組んでいたもので、農薬などを使用していない安心安全なトマトです。今回は、この「夢とまと」を使ったコース料理をペア2組にプレゼントします。

※現在、「夢とまと」は「たけだスピリッツ店」と「エビス亭」での販売と贈答用ギフトとしての注文を承っています。

◎商品についてのお問い合わせ

囲炉裏料理&創作料理 エビス亭

〒859-5153 平戸市戸石川町7-3

TEL 23-3244 FAX 23-3244

<http://www.ikitsuki.com/irori-ebisutei/>

※プレゼントは、事業所から提供をいただいています。

◎あて先

〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3

総務課秘書広報班

「市民の声&読者プレゼントコーナー」係

▼F A X 22-2419

▼E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

※市ホームページからも投稿することができます。

※個人情報の取り扱いについては、「平戸市個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供しますのであらかじめご了承ください。



※写真はイメージです

市民のみなさんからの おたよりお待ちしております。

郵便、FAX、E-Mailで、氏名(ふりがな)、年齢、性別、住所、電話番号、ペンネームまたはイニシャルを記入の上、広報ひらどを読んだ感想や取り上げてほしい話題や記事、平戸市への思い、あなたの身近な出来事などを書いてご応募ください。お便りをくださった人の中から抽選でペア2組に上記商品をプレゼント。応募締切は8月25日(火)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

国際交流員

レムコー・フロライクの

HIRADO -change

平戸と世界をつなぐコーナー

「10年目の平戸とオランダのサッカー交流」

オランダ人はスポーツが大好きです。人口は九州とほぼ同じ1,600万人ととても少ないのに、オリンピックの獲得メダル数はいつも上位20番以内に入っています。そして、フィールドホッケー、スピードスケート、K-1、水泳など、いろいろなスポーツが盛んです。オランダで生まれたスポーツもあります。コーフボールは男女共同(1チーム4人ずつ)のバスケットボールのようなスポーツです。

また、水の張った堀や運河を棒を用いて飛び越える競技、「フィーエルヤッペン」は聞いたことがあるでしょうか?これもオランダのスポーツです。

しかし、オランダで一番人気があるスポーツは、間違いなくサッカーです。オランダ各地に3,000近くのサッカークラブがあり、小さな村のサッカークラブでも専用のグラウンドを持っています。

その中の一つに、平戸市と交流しているV.V.S.Bというサッカークラブがあります。オランダのノールトワイケルハウト市にあるこのクラブは、オランダで一番レベルが高いアマチュアリーグに所属しています。平戸市とオランダのサッカー交流は、今年で10年目になりますが、そのうちの9年間はV.V.S.Bとの交流です。この9年間で、本当にいい交流が生まれています。この交流が基になり、今年にはノールトワイケルハウト市民が栽培したチューリップに「ひらど」という名前が付きましました。平戸市とノールトワイケルハウト市の友好関係のシンボルになっています。

また、交流を深めるために、オランダでは「平戸・ノールトワイケルハウト法人」も創立されました。昨年私たちがサッカー交流のためにノールトワイケルハウト市に行ったとき、市民のみなさんの熱烈な歓迎を受けてびっくりしました!

そして、今年には「平戸オランダ年」を記念して、ノールトワイケルハウト市長が初めて平戸を訪問する予定です。これを機にさらに交流の輪が広がっていくことでしょう。

また、例年通りV.V.S.B対平戸中学生選抜チームの親善試合を行ないますが、さらに今年には「平戸オランダ年」を記念して、「Vファーレン長崎」の選手も小学校の児童を対象にしたサッカー教室に参加します。ぜひみなさんも応援に来てください。そして一緒に「平戸オランダ年」を祝い、これからの交流の歴史を作っていきます!

● 青少年日蘭交流事業 Vriendschappelijk Japan-Nederland Jeugdvoetbal Toernooi

オランダから少年サッカーチームがやってきます!

2000年の日蘭交流400周年記念事業から継続して行っている平戸とオランダの少年たちとの交流事業は、今回で10年目になります。今回は、平戸オランダ年400周年記念事業として、オランダ・ノールトワイケルハウト市長と助役、そしてオランダ少年サッカーチームを招待します。

サッカーの親善試合には、市内の中学生が参加するほか、滞在中は、市長表敬訪問や観光史跡見学、4日間のホームステイなどを通じて異文化を理解しあい、国際交流を深めます。

【主な日程】

◎ホームステイ 8月21日～24日(4日間)

- 21日(金) 平戸着・市長表敬訪問
歓迎集会、市内観光
- 22日(土) サッカー合同練習
呈茶体験(松浦史料博物館)
- 23日(日) ホームステイ先地域での自由交流
サッカー教室(小学生対象)
サッカー親善試合(ライフカントリー)
開催時間:午後0時30分～午後4時
- 24日(月) 観光史跡見学・ホストファミリーとの交流
- 25日(火) 平戸発、帰国

※都合により日程を変更する場合があります。



今月のおすすめ本

としよかん みんなの図書館

このほかにもたくさんの
新着図書があります!!



『おおなべこなべ』

絵/松成真理子、文/森山京
出版社/童心社

おばあさんの家に息子家族が遊びにきた時、大きななべは大活躍。でも、孫娘のあやちゃんが、おなかを壊して、小さななべの出番がやってきました。どんなものができたかな?心もおなかもみだされる一冊です。

平大



『知識ゼロからの健康茶入門』

監修/藤田統一郎
出版社/幻冬舎

ゴーヤ茶・カキの葉茶・タンポポ茶など、107種類もの健康茶を、病気の症状別に、どんな成分が効くのかをわかりやすく解説しています。自然治癒力を高め、安くて安心して、毎日続けられる健康茶、はじめてみませんか?

生



『カミキリムシ』

写真/栗林慧、小川宏
出版社/リブリオ出版

田平町在住の昆虫写真家栗林慧さんと小川宏さんの素晴らしい写真とやさしい文章で生き物について語る児童書です。強大なあごをそなえたシロスジカミキリのからだの仕組みや産卵から羽化までの様子など、その生態を解説しています。

田



『ふちなしのかがみ』

著/辻村 深月
出版社/角川書店

「花子さん」や「コックリさん」子どもの頃、誰もが覗きこんだことのある怖い話や古いの世界。加奈子は恋の行方を知りたくて、してはいけない、禁断の古い手を出してしまう...青春ミステリの気鋭、初の怪談!猛暑の夏に、ひんやりとなりますよ。

永



『名探偵コナン推理ファイル エジプトの謎』

原作者/青山剛昌
出版社/小学館

エジプトの発掘現場で密室殺人事件がおきた。これはファラオののろいか?コナン・小五郎・蘭は真犯人にたどりつくのか?コナンと冒険を楽しみながら「古代エジプト」について学べる一冊です。

平



『みんな大好き!お祭りあそびかんたんアイテム100』

著/いしかわ まりこ
出版社/チャイルド本社

みんなが大好きなお祭り。地域で、学校や保育園で行われますが、例年、ありきたりになっていませんか?お祭りをもっと盛り上げるゲームや身近な材料で簡単に作れる盛り上げグッズを紹介しています。

南

※平: 平戸図書館 永: 永田記念図書館 南: 南部公民館図書室 生: 生月町中央公民館図書室 田: 田平町中央公民館図書室 大: 大島村公民館図書室

～図書館からのお知らせ～

平戸図書館 ☎22 - 4017
◎休館日/4日・11日・18日・25日・30日
●8月の主なもよおし●
■おはなし会/毎週土曜日 午後2時～
■赤ちゃんおはなし会/12日午前10時30分～
北部公民館2階和室小

永田記念図書館 ☎28 - 0128
◎休館日/4日・11日・18日・25日・30日
●8月の主なもよおし●
■おはなし会/1日・15日・22日・29日 午後2時～
■映画会/8日 午後2時～
・身障犬ギブのおくり物(39分)
・アルプスの少女ハイジ他(24分)
■楽しい工作/17日 午前9時～12時30分(対象:小学生)

南部公民館図書室 ☎27 - 0047
生月町中央公民館図書室 ☎53 - 0541
田平町中央公民館図書室 ☎57 - 0207
大島村公民館図書室 ☎55 - 2985

■図書館ホームページ■

インターネットを使って図書館の情報を
見ることができます。

◎パソコンから
URL <http://www.hirado-libraries.jp/>

◎携帯電話から
携帯電話のバーコードリーダーで右のQRコードを読み込んで簡単にアクセスできます。



HIRADO X-CHANGE

PHOTO
まつの
できごと
NEWS

25mのかっぱ巻き
づくりに挑戦！

7月11日、田平町民センターで、「がわっぱ祭り」が行われ、小学生ら約200人が参加しました。田平町内に伝わる「いたずらカップ」が子どもに相撲をしようと誘い、川に引きずり込むなどのいたずらを続けたため、寺の和尚に石で封じ込められた伝説にまつわる祭り。時折、激しい雨が降る中、みこしを引いて町内をパレードし、カップ供養塔前で水難事故防止を祈願。その後、同センターで総延長25mのかっぱ巻きづくりや頭にカップの皿を載せて片足立ちでひもを引き合う「がわっぱ相撲」に100人の子どもたちが挑戦しました。



しっかり実った水耕栽培の「夢とまと」

戸石川町のハウス農園で、「夢とまと」の生産に取り組んでいる「トマト家十人会」(南沢茂事務局長)が、県内でもあまり例のない、トマトの水耕栽培を行っています。「夢とまと」は、味が濃く糖度が高いのが特徴で、水耕栽培によって地下水と養分のみで栽培し、農薬を一切使用しないので、安心安全なおいしいトマトです。平成16年から栽培に取り組み、ハウスを改良するなど工夫を重ねながら、1株で年間1万個の収穫が期待できる技術が確立されました。今年は見事に育ち、実がびっしりとなりました。

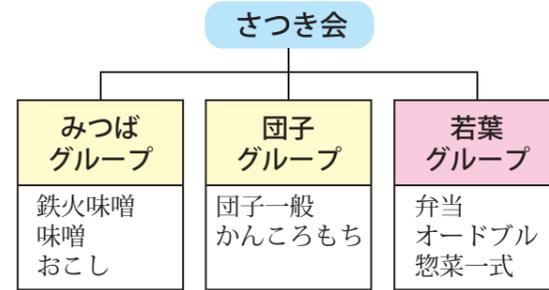


貴重な「平戸黄ユリ」が見事に開花しました

7月1日、北松農業高校園芸科学科の代表生徒2人が市役所を訪れ、白濱市長に「平戸黄ユリ」の増殖成功の報告をしました。このユリは、「コオニユリ」の変種で、小ぶりの黄色い花が特徴です。古くから「黄平戸」の名で知られていましたが、昭和36年にほぼ全滅。平成12年に3株だけ発見されたものを、同校のバイオ技術により、約50株まで増殖に成功。生徒たちは、「もっと増やして商店街や公園に植えたい」と話していました。7月1日から15日までの約2週間、市役所玄関に展示しました。



さつき会構成図



※母体である「さつき会」は、3つに分かれて、それぞれのグループで地元の食材を使った商品を作っています。



▲給食の新メニューとして出された「ツワの五目ごはん」。子どもたちに「おいしい」と大変好評を得ました。

市内の学校栄養職員に助言や指導を受けながら、メニュー献立試食会を開催し、子どもが好んで食べてくれるような「生月のツワ」の新メニュー4品を作り出し、それぞれの学校給食共同調理場へ提供しました。生月学校給食共同調理場管内の小学校には、3月2日に「ツワの五目ごはん」が出され、児童・生徒のみなさんには、地元の旬の味を堪能してもらいました。

生月小学校2年生がその日に書いた給食感想文では、「お母さんと一緒に料理して食べたい」「生月にこんなおいしいツワがあると知らなかった」などの感想が出され、地元のかつき会

「さつき会若葉グループ」は、地元でとれた農産物を活かした弁当や惣菜を販売し、生月町内で地産地消を推進しているグループです。

平成20年度には、母体組織である「さつき会」が、町外の人が採取するほどおいしいと評判の「生月のツワ」を学校給食のメニューに加えようと取り組みました。

見つけた！平戸の元気
No.3
「さつき会若葉グループ」
「お母さんたちの力で特産品を」
協働によるまちづくり

食材を子どもたちに知ってもらう良い機会になりました。

また、生月町は、江戸時代、西日本最大規模を誇った捕鯨の益富組の本拠地で、現在も鯨料理や勇魚捕唄などが語り継がれています。今年度の活動は、観光客がお土産にできるような鯨の加工品がないことに着目して、加工品開発に取り組むようにしました。

まずは、観光客に対して鯨加工品のニーズ調査を行った結果と併せて、他市の鯨加工品を取り寄せて特産品開発の試食会を開くことにしています。

しかし、「さつき会若葉グループ」だけでは鯨に関する知識が少なく、加工品開発が難しいことから、「生月勇魚倶楽部」に協力を依頼しました。「生月勇魚倶楽部」は、生月の旅館や料飲業者が中心となって鯨料理の開発に取り組んでいる団体で、鯨に関する加工の知識が豊富。現在は、「さつき会若葉グループ」のメンバー全員も「生月勇魚倶楽部」の会員として協力体制を強化しています。

将来的には、観光客のお土産だけでなく、市民のみなさんが贈答品として送ることのできる特産品になればと頑張っています。現在、「さつき会若葉グループ」も所属する「生月勇魚倶楽部」では、一般会員を募集しています。鯨の加工品開発に興味のある人は、ぜひご協力ください。

「生月勇魚倶楽部(一般会員)募集！」

生月勇魚倶楽部では、鯨料理の新メニュー開発や鯨食の普及、お食事会、各種イベントでの鯨料理販売などを一緒に行っていただける市民のみなさんを募集しています。

鯨食に関し興味のある人は、下記までご連絡ください。

- 年会費 2,000円
- 連絡先 生月勇魚倶楽部 会長 外山 弘
〒859-5705 生月町館浦6
☎53-1150
- URL <http://ikitsukiisana.jp/>

お問い合わせ
企画課地域協働推進班(☎内線2333)



さつき会若葉グループ

(後列) 富岡美加代さん、田中ムメ子さん、蜜山祥子さん
(前列) 蜜山栄子さん(リーダー)、神田なおみさん、吉永延子さん

大会2連覇！吉元勇志くん全国大会へ

5月3日、県立武道館(佐世保市)で「第9回全国少年少女空手道選手権大会県予選」が開催され、小学3年男子個人組手の部に出場した吉元勇志君(田平北小)が優勝し、昨年に続いて大会2連覇。8月9日(日)に東京武道館で開催される全国大会への切符を手にしました。「3月に平戸であった空手道セミナーで世界王者ジョージ先生から指導を受けたことが役立ちました」と吉元くん。「全国大会の雰囲気にのまれて昨年は勝てなかったけど、今年はベスト8を目指したい」と意気込みを話してくれました。



大会8連覇を阻止し、初出場初優勝！

6月21日、コスモス会館相撲場(時津町)で、「第17回長崎県中学校相撲選手権大会」が開催されました。団体戦では、宝亀少年相撲倶楽部(先鋒：石田駿太君、中堅：石田十有人君、大将：平田太郎君)が、8連覇を狙う両国少年相撲倶楽部(諫早市)などを破り、初出場で初優勝を飾りました。個人戦でも、石田駿太君が準優勝、平田君が3位、石田十有人君が5位に入りました。3人は、8月9日(日)、両国国技館で開催される「第20回全国都道府県中学校相撲選手権大会」に県代表として出場します。



熱唱！永井龍雲ライブ「祈りの詩」

7月18日、平戸文化センターで、「永井龍雲SUMMERライブ～祈りの詩～」が開催されました。このコンサートは、「本市の生涯学習活動を市民の知恵と行動力で実践しよう」との思いで結成した「平戸まなぶ君応援団」(会長 下川武夫)が主催したもの。市民の力で平戸をもっと元気にしたいとコンサートを企画したところ、歌手の永井龍雲さんがこの趣旨に賛同して実現した手作りのコンサート。訪れた360名の観客は、永井さんのしっとりとした歌声に聴き入っていました。



七夕に地域活性化の願いを込めて

7月19日、紐差町で、「第5回ひもさし七夕まつり」(紐差まちづくり研究会主催、末吉美智男会長)が開催され、地元の子どもたちなど約1,000人が参加しました。イベントでは、「チームで紐跳び」と題した縄跳び大会が行われ、1チーム5人で跳んだ回数を競いました。学校のクラブや婦人会など7チームが参加。143回跳んだ「平戸高校バレー部Bチーム」が優勝し、賞品の7,000円分の商品券を獲得しました。そのほか、ライブや餅まきなどが行われ、楽しい夏の思い出を作りました。



子どもは完ぺきな親を求めています

7月4日、平戸文化センターで、「子育て講演会」(市教育委員会主催)が開催され、子育て中の親や教職員など約400人が参加しました。講師の幼児教育専門家熊丸みつ子さんは、「今すぐ子どもへ伝えたいこと～親として大人として教師として地域として～」と題して講演。「子どもは完ぺきな親ではなく、親の愛情と笑顔を求めている。親ができないところは、先生や地域のみなさんが育てる。それが子どもの幸せを守るための大人の責任」とみんなで子どもを育ててほしいと話していました。



目指せリーグ優勝！「長崎セインツ」

7月12日、赤坂野球場で、「長崎セインツVS香川オリブガイナース」戦が開催されました。長崎セインツは、佐世保市を本拠地にした県民球団で、四国・九州アイランドリーグの公式戦の前期日程で優勝。今回がホームでの後期開幕戦となりました。試合は、田平の少年野球クラブ「瓊川エンゼルス」の畑原大輝君(田平北小6年)による始球式でプレイボール。試合途中には、よさこいチーム「北松Z」の威勢のいい踊りによる応援で、試合を盛り上げましたが、惜しくも2対3で逆転負けを喫しました。



アジアの英雄「鄭成功」をたたえる生誕祭

7月14日、川内町の鄭成功廟で、鄭成功生誕祭(平戸観光協会主催)が開催されました。鄭成功は、平戸出身の田川マツを母に川内で生まれ、抗清闘争の代表的指導者で、今でも中国や台湾では英雄として敬われています。生誕祭には、地元の関係者や許添財台南市長、台湾からの訪問団ら約200人が参加。許市長は「台南市で復元している当時の木造船で、最初に平戸に寄港したい」と語りました。神事後、中野愛児園児童による太鼓や中野地区保存会のみなさんによる「平戸ジャンガラ」が奉納されました。



平戸大橋の日ごろの利用を感謝して

7月18日、平戸公園で、「平戸大橋ライトアップサンクスフェスタ」(主催：県道路公社ほか)が開催され、約3,500人のみなさんが集まり、にぎわいました。光の園保育園の太鼓や潮香保育園の薄香相撲甚句が披露されたほか、平戸の食材を使った5種類のカレー販売や「平戸大橋へ向かって愛を叫ぶ！」と題した大声大会などが行われました。午後8時30分からは、平戸大橋がライトアップされ暗闇に浮かび上がると、記念の花火が打ち上げられ、訪れた人は今年平戸で初めての花火大会を満喫していました。



Happy 子育て応援隊

No.4 子育てを見直す機会を作ってみませんか？

乳幼児と接する機会がほとんどなく大人になり、我が子を産んで初めて乳幼児と接する親が増えています。初めから完ぺきな親などいません。今回は、子育て中の親子が集まり、話し合いを通して親自身が子育てについて学び、親も子どもと共に成長していく「ノーバディーズパーフェクトプログラム」を紹介します。

■お問い合わせ 福祉事務所子育て支援班(内線☎2572)



◎「ノーバディーズパーフェクトプログラム」ってなに？

「ノーバディーズパーフェクトプログラム」(以下NPプログラム)とは、簡単にいうと親の子育てに関する不安感を取り除いて、子育てに自信をつけてもらうための講座です。

核家族が多くなり、頼りの父親は仕事で忙しいため、母親にかかる子育ての負担が大きくなっています。子どもが保育園や幼稚園に通っている家庭はまだしも、家庭で付きつきり子育てをしている母親は、社会とのつながりが少なくなり、孤立してしまいがちです。

このような母親同士が集まり、子育てや自分自身を見直していくことで、「子育ては一人じゃない」、「子育ては大変だけど楽しい」と感じてもらうため、一昨年からの講座を始めました。

◎参加者の感想は！

昨年この「NPプログラム」に参加した人に「参加して考え方がどう変わりましたか？」と質問したところ次のような回答が返ってきました。

▼気持ちが明るくなりました。
▼みんな子育てに悩んだり、いらいらしたりしているんだ、私だけじゃないんだ！と前向きに思える

▼心にとりかかっているようになりまし
た。

▼夫に対して寛容になりました。
▼一日でできた分だけいいじゃない
と思えるようになりました。

◎具体的にどのようなことをするの？

子育ての悩みや経験談などをテーマごとに自由に話しますが、講師の先生が一方的に子育てのノウハウを話す従来の講義方式ではありません。「NPファシリテーター」という進行役が、実際の場面を想定し、さまざまな役割を演じさせて問題を解決させる方法などを用いて、親が積極的に話ができるような雰囲気を作り出し、話を深めていきます。

また、親が安心して子育てや自身、家族との関係を振り返ることができるように、無料託児所を準備したり、ティータイムとしてお菓子やお茶を楽しむ時間などを設けたりしています。

※NPファシリテーターとは…

NPプログラムを企画し実施する人のことをいいます。参加者が積極的に参加して仲間同士の結びつきを強め、子育ての知識や自信を身に付けることができるように導きます。

◎「NPプログラム」に参加したいけど、いつあるの？

今年度に行われる「NPプログラム」は、次のとおり行われます。
○対象者 0歳から5歳の子どもを持つ親であれば、どなたでも参加できます。

○参加人数 10人(14人(先着順))

○申込方法 参加を希望する人は、電話で福祉事務所子育て支援班へお申し込みください。申し込みの際には、氏名、住所、電話番号、お子さんの氏名をお伝えください。

※FAXでも受け付けます。

▼FAX 22-4421

○申込締切日 9月14日(月)

○開催日程

▼平戸会場(北部公民館)

第1回 10月1日(木)

第2回 10月9日(金)

第3回 10月15日(木)

第4回 10月22日(木)

第5回 10月29日(木)

第6回 11月5日(木)

第7回 11月13日(金)

第8回 11月19日(木)

※全8回、毎回午前10時から正午までの2時間行います。

※田平会場では、平成22年1月ごろ実施予定です。

◎子育ては一人じゃない仲間がいれば楽しめる

「NPプログラム」には、子育ての悩みやストレスを抱え込んで、押しつぶされそうになっていた気持ちを丸ごと受け入れてくれる居心地のよさがあります。講座を通して、仲間から自分の長所や能力を気付かせてもらうことで、「今の自分でいいんだ、自分が大好き」と思えるようになります。

また、親全員が話し合う時間を多くとり、みんなが共通するテーマで話を深めていくので、回を重ねるごとに参加者同士の一体感が生まれ、親同士が助け合える関係ができてきます。自分に自信がつけば、他人にも穏やかで柔らかな気持ちで接することができるようになるのです。

初めて子育てをするとき、悩んだり、不安になったりして当たり前です。そんな時は「NPプログラム」に参加してみてください。自分自身や子育てを見直すいい機会になります。



◎マザーオアシス◎

白石美穂さん・陽大くん
話しやすい仲間が増え、自分の子育てを見直すいい機会になっています。子育てをしながら、自分自身も楽しめる活動をしていきたいです。

「NPプログラム」から信頼関係が生まれ親同士の強い絆で生まれたグループ

去年の「NPプログラム」に参加したママたちが、講座後に、ママ同士のつながりを失いたくないと立ち上げたのが「マザーオアシス」です。1~2か月に1回、ママだけで集まって昼食を食べたり、親子で集まって田平公園でお花見や川内峠でピクニックをしたりしています。特に、ママ同士の活動をとて大事にしています。子どもを保育園の一時保育などを利用して半日預け、「NPプログラム」を再現して、昼食を食べながら本音で話して共感し合っています。

今後は、子どもたちにさまざまな体験をさせたいと、MRに乗る体験や沢登り体験、海水浴、いちご狩りなども企画しています。



池田彩子さん・結香ちゃん・瑞穂ちゃん
講座に参加する前は、ほとんど外出しませんでした。講座を受けて友達が増え、今ではみんなで子育て講座や交流会などに出かける機会が増えました。



県では、多子家庭で明るい子育てを実践している家庭を「子育て大賞」として表彰しています。

明るい子育てを頑張っている多子家庭を推薦してください

☎内線2571

※参加者全員に参加賞があります。
○表彰 優秀作品は当日表彰します。
※画用紙は配布します。画板はこちらでも数枚用意しますが、お持ちの人は持参してください。

- 対象者 幼稚園・保育園児（保護者同伴）と小学生
- 参加費 4歳、5歳園児 120円、小学生 240円
- ※同伴される保護者は無料です。
- 持ってくる物 絵の具・クレヨンなど絵を描く道具、弁当、飲み物、タオルなど
- ※画用紙は配布します。画板はこちらでも数枚用意しますが、お持ちの人は持参してください。

参加を希望する人は、電話でたびら昆虫自然園へお申し込みください。
○とき 8月30日(日)午前10時～午後4時

たびら昆虫自然園スケッチ大会の参加者を募集します

☎57-3348

募集

INVITATION

※電話などによるお問い合わせは、受けます。

審査結果発表 受賞者、受賞団体のみなさんには、10月19日(月)に連絡します。

○搬入場所
▼平戸地区 各公民館(北部、中部、南部)
▼生月地区 生月町博物館・島の館
▼田平地区 田平町民センター
▼大島地区 大島村離島開発総合センター

市美術展覧会の作品を募集します

☎内線2633

平成21年度市美術展覧会の作品を次のとおり募集します。
○出品資格 小学生以上の市内在住者または市内の職場や学校に在籍する人であれば、どなたでも出品できます。
○出品部門 日本画、洋画、デザイン、工芸、写真、書、彫刻の7部門
○出品申し込み・搬入期間 9月30日(水)～10月2日(金)

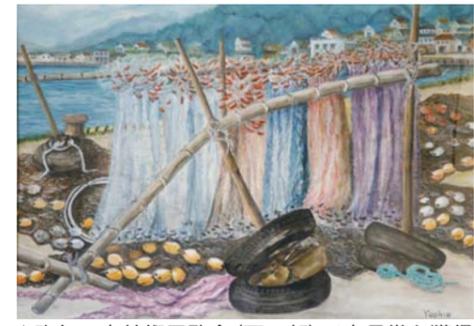
みなさんの周りに次のような家庭がいましたら、福祉事務所子育て支援班まで連絡してください。自薦、他薦は問いません。
○要件 18歳未満の子どもが5人以上で、地域とのふれあいを大切に子育てしている家庭や家族そろって地域ボランティアに参加している家庭など

○申込方法 電話で福祉事務所障害福祉班にお申し込みください。

在宅障害者の歯科診療を実施します

☎内線2565
一般の歯科診療所で治療が困難な在宅の障害者(児)を対象に、歯科診療車による歯科診療を次のとおり実施します。
○とき 10月8日(木)、9日(金)、22日(木)、23日(金)、11月12日(木)、13日(金)、26日(木)、27日(金)

お知らせ



▲昨年の市美術展覧会(画の部)で市長賞を獲得した池田淑江さんの作品「干し網」

○表彰式 表彰は、11月3日(火)に平戸文化センターで行います。

Topics

スポーツの振興に役立ててほしい

NEW平戸ゴルフ愛好会(会員数53人)の高見文彦会長ほか役員3人のみなさんが、市長室を訪れ、白濱市長に5万円の寄附金を手渡しました。この寄附は、月1回開催している同会のコンペが100回目を迎えたことを記念して行われたものです。寄附金は、平戸市スポーツ振興基金に積み立て、競技力の向上や市民がスポーツに親しむイベント開催などに活用していきます。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお申し込みします

あなたの力をぜひ平戸市の活力に！ 平戸市職員の採用試験を実施します



【試験職種・受験資格など】

| 試験区分 | 試験職種 | 職務内容 | 採用予定数 | 受験資格基準 |
|---------------|------|-------------|-------|--|
| 大学卒業程度 | 行政 | 一般行政事務 | 若干名 | ① 昭和52年4月2日以降に生まれた人 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)の規定による大学の卒業生(見込者を含む)またはこれと同等と認められる学校を卒業した人 |
| 資格免許職(高校卒業程度) | 建築 | 建築に関する専門的業務 | 1名 | ① 昭和45年4月2日以降に生まれた人 ② 建築士法(昭和25年法律第202号)の規定による一級建築士の資格を持っている人または平成21年度実施の国家試験で免許取得見込みの人 |
| 資格免許職(短大卒業程度) | 消防士A | 消防に関する専門的業務 | 若干名 | ① 昭和57年4月2日以降に生まれた男子 ② 救急救命士法(平成3年法律第36号)の規定による救急救命士の免許を持っている人または平成21年度実施の国家試験で免許取得見込みの人 ③ 身体強健で、色神、聴力、言語および運動機能などに障害がなく、次の身体基準を満たす人 ・身長160cm以上、体重50kg以上で、胸囲はおおむね身長長の2分の1以上あること。 ・視力は、両眼で0.7以上(一眼でそれぞれ0.3以上であること。矯正視力を含む。)、かつ、赤色、青色および黄色の色彩の識別ができること ・聴力が正常なこと。 ・体質壮健で四肢完備し、その活動が自由なこと。 ・感染性疾患のないこと。 ・精神機能が完全なこと。 ・言語は、明瞭で充分発声ができること。 ④ 採用後、平戸市に居住できる人 |
| 高校卒業程度 | 一般事務 | 一般行政事務 | 若干名 | ① 昭和52年4月2日以降に生まれた人 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)の規定による高等学校の卒業生(見込者を含む)またはこれと同等以上の学力があると認められる人 ③ 試験職種「行政」の②の受験資格基準を満たさない人 |
| | 消防士B | 消防に関する専門的業務 | 若干名 | ① 昭和60年4月2日以降に生まれた男子 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)の規定による高等学校の卒業生(見込者を含む)またはこれと同等以上の学力があると認められる人 ③ 試験職種「消防士A」の③の受験資格基準を満たす人 ④ 採用後、平戸市に居住できる人 |

○一次試験 9月20日(日) ○受付締切日 8月21日(金)
○申込用紙請求方法
・申込用紙は、総務課人事班、消防本部総務課、各支所市民協働課および各出張所で交付します。
・申込用紙を郵便請求する際は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と朱書きし、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角型2号/33cm×24cm)を必ず同封してください。
■申し込み・お問い合わせ
〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3 総務課人事班(☎内線2317)
E-Mail jinji@city.hirado.lg.jp

お知らせ

INFORMATION

精神保健地域講演会を開催します

☎福祉事務所障害福祉班
☎内線2565

多くのみなさんに精神障害者への理解と接し方を学んでいただくため、「精神保健地域講演会」を開催します。
今回の講演会では、精神障害者の中でも、統合失調症などで服薬中の人やその家族への対応について講演するようにしています。

○とき 8月11日(火)午前10時～正午(午前9時30分開場)

○ところ 田平町民センター

○講演 「精神障害者の理解と対応について」(講師 長崎こども・女性・障害者支援センター所長 大塚俊弘氏【精神科医】)
※精神障害者やその家族の話などもあります。
○入場料 無料

市長選挙・市議会議員一般選挙の立候補予定者説明会を開催します

☎選挙管理委員会
☎内線2365

平成21年10月18日執行の「平戸市長選挙」と「平戸市議会議員一般選挙」の立候補予定者説明会を、次のとおり開催します。

説明会では、立候補の届け出に必要な書類を配布します。
会場の都合上、出席者は立候補予定者ごとに2人までとします。

○とき 8月24日(月)
▼市長立候補予定者 午前9時30分～
▼市議立候補予定者 午後1時30分～
※選挙ごとに説明会開始時間が異なりますので、ご注意ください。

○ところ 市役所3階大会議室
○携行品 印かん・筆記具

日本脳炎の予防接種を受けましょう

☎保健センター保健サービス班
☎28・1000

日本脳炎は、人から人への感染はなく、豚の体内で日本脳炎ウイルスが増えた後、その豚を刺した蚊が人を刺すことにより感染します。感染すると、高熱・頭痛・嘔吐・意識障害・けいれんなどの症状が現れます。

西日本を中心に、日本脳炎ウイルスに感染している豚が多くみられますので、予防接種を受けて感染を防ぎましょう。

○定期予防接種の対象者

▼第1期 生後6か月～7歳6か月(通常3歳で接種します。)
▼第2期 9歳～13歳未満(通常9歳で接種します。)

○副作用が少ない新ワクチンを供用開始
従来の日本脳炎ワクチンに加え、副作用が少ない新ワクチン(乾燥細胞培

養日本脳炎ワクチン)を定期予防接種で使用できるようになりました。
新ワクチンは、第1期のみ使用できるワクチンです。

○接種方法 年間を通して県内医療機関で個別接種できます。
新ワクチンについては、医療機関によって入手が困難な場合がありますので、必ず事前に電話で予約をして受診してください。

○接種料 無料

○予防対策 予防対策として蚊に刺されないことが大切です。虫よけスプレーや蚊取り線香などを活用しましょう。また、服装は肌を多く露出させないように心がけましょう。

免除期間の老齢基礎年金額の反映割合が変わりました

☎保険福祉課国保年金班
☎内線2592

国民年金保険料の免除期間について、老齢基礎年金を受けられる際の反映割合が、平成21年4月分から次のように変わりました。

- ▼全額免除 年金額に3分の1反映
↓2分の1反映
- ▼4分の3免除 年金額に2分の1反映
↓8分の5反映
- ▼半額免除 年金額に3分の2反映
↓4分の3反映
- ▼4分の1免除 年金額の6分の5反映
↓8分の7反映

「やらんば!平戸」応援寄附金を基金に積み立てました

☎企画課企画調整班
☎内線2335

平成20年度にいただいた「やらんば!平戸」応援寄附金は、37件145万4000円で、その全額を基金に積み立てました。

今後、寄附者が希望された総合計画の重点プロジェクト「やらんば!平戸」プロジェクトの三つのプロジェクトなどに活用させていただきます。

内訳は次のとおりです。
▼輝く人づくりプロジェクト 5件 24万円
▼宝を磨き活かすプロジェクト 2件 4万円
▼ずっと住みたいまち創出プロジェクト 6件 31万円
▼その他 24件 86万4000円

屋外広告物掲示の申請範囲を市全域に拡大

☎都市計画課まちづくり班
☎内線2290

市では美しい景観を守るため、景観計画を策定し、7月1日から景観条例を施行しました。

このことに伴い、屋外広告物(※1)を表示・設置する場合に市へ申請が必要な地域を、都市計画区域を含む一部の地域から市全域に拡大しました。

花火を楽しむ季節 取り扱いに注意を

☎消防本部予防課
☎内線2134

7月1日以前に設置した看板は、経過措置が適用される場合や一定基準の自家広告物(※2)は、申請が不要となる場合がありますので、あらかじめ都市計画課まちづくり班へご相談ください。

※1 屋外広告物とは：看板・立看板・はり紙や広告塔・広告板など、屋外で常時または一定の期間継続して公衆に表示する広告物などです。
※2 自家広告物とは：自己の氏名、店名、商標、営業内容を表示するため、自己の住所、事業所、営業所などに表示する広告物などです。

- ①必ず注意書きを読みましよう。
- ②花火は安全な場所で行いましょう。
- ③花火をするときは、必ず大人が付き添いましよう。
- ④一度にたくさん花火に火をつけることは、やめましよう。

2009世界の昆虫展 inたびらを開催します

☎教育委員会田平分室
☎内線5013

- とき 8月8日(土)～16日(日)午後10時～午後5時
- ところ たびら活性化施設
- 入場料 100円(小学生以上)
- ※入場券を持参すると、開催中何度でも入場できます。

「期間中のイベント情報」

- ▼世界の生物生態写真家、栗林慧氏による「奥アマゾンのエピソード」講演会
- とき 8月8日(土)、15日(土)午後1時～午後2時
- ところ たびら活性化施設
- ▼プロ写真家、浜崎さわこ氏による写真教室
- とき 8月9日(日)午前10時～午後3時
- 内容 たびら活性化施設大ホールで講習後、たびら昆虫自然園に移動し撮影を行います。
- 定員 30人(先着順)
- ※電話で教育委員会田平分室へお申し込みください。
- 参加費 1000円(昼食は持参してください。)

戒名彫刻・クリーニング
改修・移設・合祀

創業70年 お墓のことなら何でもご相談下さい

墓石 設計
記念碑 製作
松永石碑店 施工

生月町山田免2331 0950-53-2816

当店はパーマ・カラー剤の害を消滅し
美と健康、環境浄化をめざします。

次の方におすすめします。初ご来店の方は、30%OFF

- ①髪や地肌を美しく健康にしたい方
- ②パーマ・カラーで髪や地肌を傷めたくない方
- ③うす毛・抜け毛・軟毛で悩んでおられる方
- ④体や環境に安心安全なものを使いたい方
- ⑤ストレスや疲れをため込んでいる方

ビーワンシステム ビーワンシステム

美容室 BIGIN

予約制 ※PM7:00まで受付 美月店 ☎22-5630 生月店 ☎53-0034

新築・リフォーム他どんなご相談もお気軽にどうぞ!

相談 設計 見積 無料!!

新築・リフォームキャンペーン実施中!!

代表 山川 正
平戸市津吉町199-1
☎27-2552 FAX/27-2551

建設業許可 長崎県知事(般-20)第1216号 / 一級建築士事務所 登録第117104号

ご融資 生活資金、教育資金、車購入資金、事業資金、他各種フリーローンをご用意しております。

ご預金 定期預金、定期積金、他各種ご預金をご用意しております。

ご相談 お金に関するお悩み(生活資金繰りの立て直し等々)なんでもご相談下さい。

長崎県民信用組合 平戸支店 0120-0892-61
平戸市新町字新町90-3

※土日祝祭日もご相談をお受けしております。
※詳しくは、電話又は店頭窓口へお尋ね下さい。

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

